



学園からのお知らせ

○第66回国民体育大会：セーリング競技会入賞

平成23年10月2日(日)～5日(水)の期間に山口県光市において開催された第66回国民体育大会で神戸女子大学健康福祉学部健康スポーツ栄養学科3回生の児玉 弥生さんが、セーリング競技のセーリングスピリッツ級(成年女子)で見事7位に入賞しました。

児玉さんは、高校生のときからヨット部に所属し、人との競争だけではなく自然と戦いながら修行錯誤するセーリングに魅せられ現在まで続けてきました。平成18年の兵庫国体では強化選手として参加し、入賞した経験もあり、今回は2度目の入賞となりました。

現在、兵庫県セーリング連盟に所属しています。活動期間は4月～10月で、夏場は週2回、新西宮ヨットハーバーで練習しています。

児玉さんは、社会人入試で神戸女子大学に入學しました。現在の所属している学科とは全く違う分野の学部を卒業し、社会人としての3年の経験をもっています。

スポーツと自然が大好きな児玉さんは、スポーツと栄養について本格的に勉強したいと思い、本学の健康スポーツ栄養学科が創設された時に受験しました。2度目の学生生活では、自分の本来に勉強したい分野を学び専門分野にかかわるボランティア活動をする楽しみを味わいながら充実した日々を送っています。本学の少人数教育の良さも実感しています。

卒業後は、栄養士としてスポーツ選手にかかわる仕事や学校の教員も視野に、身につけた知識と経験を生かせる分野に進みたいという将来の希望をもっています。セーリング選手として健康スポーツ栄養学科の学生として児玉さんのますますの活躍を期待しています。



国体の賞状を持つ児玉さん



国体で競艇中の児玉さん(右)

○世界女子空手道選手権大会 日本代表として出場

平成23年11月4日(金)に東京体育館にて開催された「2011世界女子空手道選手権大会」に神戸女子大学健康福祉学部健康スポーツ栄養学科3回生の田中 千尋さんが日本代表7名の中の1名に選ばれ出場し、ベスト16に残りました。

田中さんは8歳からお母さんのすすめで空手を始めました。女の子は珍しく周りの人にもつかわいがられ、親切にされとても楽しく道場にかよっていたそうです。

中学生になり初めて試合に出ましたが、空手では、中学生以上は一般の部となり年齢制限がなく大人と対戦することになりました。中学生になったばかりの田中さんが試合で勝つことは難しく、悔しい思いをしたことにより、いっそう真剣に練習に励むようになりました。日々の努力がみのり、試合に勝つようになりさらに空手が楽しくなりました。

世界大会の前は、日曜日以外の午後8時から10時30分まで道場で特訓をつづけました。将来は、アメリカでさらに空手の研鑽に励みたいという希望があります。空手を続けて良かったこととして、何事にもあきらめない強い精神力が備わったとうことです。

田中さんはスポーツをしている自分にとって一番になるという理由で健康スポーツ栄養学科を選びました。大学で学んだ知識も生かして世界で活躍されることを願っています。



世界大会の試合中の田中さん



世界大会の出場が決まったことが  
思われた賞状を持つ田中さん

○第7回日本ウォーキング学術賞を神戸女子大学健康福祉学部糸井 亜弥助手が受賞

平成23年6月28日(火)、健康福祉学部糸井 亜弥助手が第7回日本ウォーキング学術賞(江橋慎四郎賞)を受賞されました。平成22年6月に国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された第14回日本ウォーキング学会大会で発表し、学術機関誌「ウォーキング研究(Walking Research)No.14」に掲載された論文「都市部小学校6年生の身体活動量と栄養素摂取状況—平成21年における調査—」に対して社団法人日本ウォーキング協会から最優秀論文として贈られたものです。

糸井助手は「子どもの生活習慣病のための基礎研究」をテーマに、子どもの肥満と身体活動量、食生活、生活時間との関連や問題点を明らかにすることを目的として、小学校から高等学校に在籍する学年や地域異なる広範な児童生徒を対象に調査を継続しており、この度受賞された論文は、都市部小学校6年生における調査結果について検討しています。



第7回日本ウォーキング学術賞の賞状

## 行事日程

## 1月

6	日	元旦
6	金	<大学・短大>後期授業再開
9	月	成人の日
14	土	大学入試センター試験(15日まで)
17	火	阪神・淡路大震災鎮魂の日
18	水	<大学>学生会後期総会
19	木	一般入試前期(20日まで)
28	土	<短大>ブルーム展(2月2日まで)

## 2月

3	金	<大学・短大>後期授業終了
4	土	<大学>理学部・理学科試験
10	金	<短大>後期定期試験・補講期間終了
11	土	建国記念の日
13	月	<短大>学全企画行事(14日まで)

## 3月

1	木	一般入試後期
9	金	<短大>2年次生登壇日
15	木	<大学>学位授与・学修証明等式、卒業祝賀会
18	日	<短大>学位授与等式、卒業記念パーティー
20	火	春分の日

## 4月

3	火	<短大>入学式
4	水	<大学>入学式
9	月	<大学・短大>前期授業開始
29	日	昭和の日

## 表紙写真

オーバーナイト・センセーション Overnight Scentsations

## 宇宙を旅したバラ

## 「オーバーナイト・センセーション」

2010年の6月13日、約7年間のミッションを終えた小惑星探査機「はやぶさ」が帰郷の生還を果たしたことは、多くの日本人の記憶に新しいところではないでしょうか。

これより12年前の1998年10月29日に、ケネディ宇宙センターから打ち上げられたスペースシャトル「ディスカバリー」には、日本人宇宙飛行士・向井千秋さんが搭乗していました。向井さんと一緒に宇宙を旅して、宇宙空間で初めて花を咲かせた植物となったのが、バラの「オーバーナイト・センセーション」です。香り成分が微小重力の宇宙でどう変わるかを調べるための実験材料でした。宇宙では、香りを構成する3つの化学成分に顕著な変化が現れ、地球上では発することのない香りが確認されたそうです。この大役に「オーバーナイト・センセーション」が選ばれた理由は、バラは世界中の人々から愛されている植物であること、そして打ち上げ時にかかる約4Gの重力に耐えて、10日間の飛行中に開花すること等の条件を満たしたからと言われています。実験を行った向井さんは「人工的な環境の中でバラの花を見られるのは最高に幸せ」とコメントされました。

「オーバーナイト・センセーション」は小型の「ラ・ミニチュア系」に分類されていますが、ミニチュア系とは思えないほど花は大きく、しっとりした形で、強い芳香があります。

宇宙へ思いをはせながら、須磨離宮公園の「オーバーナイト・センセーション」をご覧になればいかがでしょうか。

神戸市立須磨離宮公園 園長 吉田 一郎



## 編集後記

新年明けましておめでとうございます。

今回から学園広報誌の発行は、依に学園行事が多く行われ、多方面にわたる活動を取り上げた内容にしたいという思いから半年毎にいたしました。

冬号を皆様にお届けするが例年より1ヶ月遅くなりました。昨年、世相を表現する表紙として「絆」が選ばれました。大規模な災害の経験から家族や友人といった身近でかけがえのない人ととの「絆」をあらためて知った一年でした。

今回のCROSSROADS vol.13は多くの学内・学外の方との「絆」によって生まれました。本誌でとりあげた様々な活動は、決して個人単位でもできるものではなく、多くの人のつながりによって成り立っているのだと取材するたびに「絆」のもつ力の大きさを感しました。広報誌の発行にご協力いただいた教職員、学生、関係者の皆様に感謝を申しあげます。

この冬も引き続き電気が求められ、皆様も寒さ対策に工夫を凝らしておられることでしょう。寒い時期もやがて終わり、季節はめぐって必ず春はやってきます。今年はずちならぬ皆様の努力が実り、その成果が昇り龍となり、明るい話題をたくさんお届けできるように願っております。(M.O.)

## 神女広報 CROSSROADS vol.13 2012年1月発行

編集・発行 学校法人行言学園 学園情報センター 学園広報担当

〒650-0046 神戸市中央区港島中町4-7-2

TEL.078-303-4790 FAX.078-303-4713

ホームページアドレス <http://www.yg.kobe-wu.ac.jp/>E-mailアドレス [gakuenkoho@yg.kobe-wu.ac.jp](mailto:gakuenkoho@yg.kobe-wu.ac.jp)

印刷 交友印刷株式会社

※「神女広報」へのご意見、お問い合わせなどお寄せください。